

Server / Desktop Edition クイックスタートガイド(第1版)

2013年6月14日



ActiveImage Protector 3.5 クイックスタートガイド (Server / Desktop Edition 共通)

(SP3)

Copyright 2013 NetJapan, Inc. 無断複写・転載を禁止します。

本ソフトウェアと付属ドキュメントは株式会社ネットジャパンに所有権および著作権があります。

ActiveImage Protector、ActiveImage Protector Server、ActiveImage Protector Desktop、ActiveImage Protector IT Pro、 ActiveImage Protector for Hyper-V with SHR、ActiveImage Protector for Hyper-V Enterprise、ReZoom、ActiveImage Protector Linux、ActiveImage Protector Virtual、ActiveImage Protector Cluster は株式会社ネットジャパンの商標です。

Microsoft およびWindows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

※本文中の画面はServer Editionですが、Desktop Editionでも操作は同じです。

Contents

1.はじめに	3
システム要件	3
2.インストール	4
3.アクティベーション	7
4.スケジュール・バックアップの設定と実行	9
単体バックアップ 9	Э
スケジュールバックアップ	6
オフサイトレプリケーションの設定19	Э
5. リストア	3
ファイル単位のリストア	3
システムリカバリーの実行	3
6. APPENDIX 40	C
ActiveImage Protector 参考情報	С

1.はじめに

ActiveImage Protectorは、レガシーマシンから最新の仮想マシンまで様々な環境のWindowsマシンを、先進のディス クイメージング技術により、バックアップ/リカバリーできるツールです。

システムを稼動したままでバックアップするホットイメージング、起動前のクリーンなシステムボリュームをバック アップするコールドイメージング、変更部分だけを高速にバックアップする増分バックアップや、自社の管理ツール と組み合わせて自動化を行えるコマンドライン実行など、バックアップソリューションに必要な機能はすべて装備し ています。

システム要件

ActiveImage Protector Server Edition / Desktop Edition のシステム要件は下記のとおりです。

メモリ (RAM)	768MB 必須(1024MB 以上を推奨)	
	Windows 2000は512MB 必須	
ハードディスク	250MB以上の空き容量が必要	
DVD-ROM ドライブ	製品インストール/復元環境の起動に必要	
サポート対象OS	Server Edition :	
	 Windows 2000 Server、および Advanced Server Windows 2000 SP4 用の更新プログラム ロールアップ 1 必須 	
	• Windows Server 2003 (x86/x64)、および 2003 R2 (x86/x64)	
	Standard、および Enterprise Edition	
	• Windows Server 2008 (x86/x64)、および 2008 R2	
	Standard、および Enterprise Edition	
	Windows Server 2012	
Standard、および Datacenter Edition		
	・ Windows Storage Server 2003、および 2003 R2	
	・ Windows Storage Server 2008、および 2008 R2	
	Windows Storage Server 2012	
	Desktop Edition :	
	Windows 2000 Professional	
	Windows 2000 SP4 用の更新プログラム ロールアップ 1 必須	
	・ Windows XP Home Edition、および Professional (x86/x64)	
	• Windows Vista (x86/x64)	
Starter を除くすべてのエディション		
	• Windows 7 (x86/x64)	
Starter を除くすべてのエディション		
	• Windows 8 (x86/x64)	
	Windows RT を除くすべてのエディション	

インストール先のマシンが、以下のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

なお、制限事項等については、ActiveImage Protector製品メディアの、以下のパスに存在するリリースノートをご 確認ください。

¥DOC¥html¥releasenote.html

2.インストール

バックアップ対象のマシンに、ActiveImage Protector をインストールする方法を説明します。

1. マシンに製品メディアをセットすると、インストールのランチャーが表示されますので、[セットアップ] を クリックします。

ランチャーが表示されない場合は、製品メディアの「¥install¥setup.exe」を直接実行してください。

ActiveImage Protector		<u>_ ×</u>
Language:		ONet Japan
Japanese		
Act	ivolmado	35
7074J 4X-	y Juit 200 PROTECTOR	0.0
79743-44-	Paness- PROIECIOR	
Art	iveimane	
BI	1	
	リカバリーディスク	お読みください
297795	作成ウィザードの開始	
	≫ このランチャを閉じる	
Copyright © NetJapan All rights reserved.		Service Pack 3

2. [次へ] をクリックします。



3. ライセンス契約書の内容を確認します。

契約書に同意できる場合は、[このライセンス契約書に同意します]のチェックボックスをオンにしてから [次へ]をクリックします。

	_ 🗆 🗙
ライセンス契約書 ActiveImage Protector Server をインストールする前に、ライセンス条件を確認してください。	
[Page Down]を押して契約書を全てお読みください。	
ActiveImage Protector エンドユーザーライセンス契約	1
重要:エンドユーザーライセンス契約(以下、「本契約」といいます)はお客 様と株式会社ネットジャパン(以下、「NETJAPAN」といいます)との間で締結 されるものです。ActiveImage Protector(以下、「本ソフトウェア」といいま	吉
▼ このライセンス契約書に同意します(A) ActiveImage Protector Server	
< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) キャン	1211

4. セットアップタイプは [標準] を選択して、 [次へ] をクリックします。

& ActiveImage Protector Server セットアップ	_ 🗆 🗙
セットアップ タイブの選択 セットアップ タイプを選択してください。	
 標準 ActiveImage Protector の標準的な機能をインストールします。一般ユーザーにお勧めします。 ① カスタム 必要な機能を選択しインストールすることができます。上級ユーザーにお勧めします。 	
ActiveImage Protector Server く戻る(B) 次へ(N) >+	ゃンセル

5. [インストール] をクリックします。



6. インストールを完了したら、[今すぐ再起動する]を選択して、[完了]をクリックします。 マシンが自動的に再起動します。

# ActiveImage Protector Server セットアップ			
ActiveImage 3.5	ActiveImage Protector Server セットアップ ウィザードは完了しました。 ActiveImage Protector Server のインストールを完了するには、この コンピューターを再起動する必要があります。今すぐ再起動します か? () 今すぐ再起動する		
	< 戻る(B) 完了(F) キャンセル		

インストールした ActiveImage Protector に対してアクティベーションを実行し、評価期限を解除して使用できる状態 にします。

- 1. ActiveImage Protector を起動します。
- サーバー OSの場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [ActiveImage Protector Server] → [ActiveImage Protector] をクリックします。

• デスクトップOSの場合

 $[スタ - ト] \rightarrow [すべてのプログラム] \rightarrow [ActiveImage Protector Desktop] → [ActiveImage Protector] を$ クリックします。

2. [オプション] メニューから、[製品のアクティベーション] をクリックします。

& ActiveImage Protector v3.5 Server Edition (評価期限:2012/12/29)		
操作(O) 表示(V) ツール(T) オプション(P) ヘル	レプ(H)	
		tati.
製品のアクティベ	-Эз)(A)	
💴 バックアップと復元 🛛 🛞	タスク スケジュール 履歴	
□ バックアップの作成	ステータス タスク	進招
■ イメージの復元		
■ イメージのマウント 解除		
ST		
ツール		
	Task Details	

3. [お客様名:]、[シリアル番号:]、[アクティベーションキー:]を入力してから[アクティベーション]を クリックします。

製品のアクティベーション		X
次のコンピューターに対して	アクティベーションを行います。	
コンピューター名:	server01	
お客様名	Ĺ	
シリアル番号	<ライセンス証書を確認してください>	
アクティベーション キー		
評価期間が後 51 日で	終了します。	
シリアル番号とアクティベ	ーション キーを入力して、アクティベーションを行ってください。	
	[アクティベーション] キャンセル	

下記のメッセージを確認できたら、アクティベーションは完了です。
 [OK] をクリックしてください。

ActiveIm	age Protector	×
i	アクティベーションに成功しま	ました。
	OK.	

<u>4.スケジュール・バックアップの設定と実行</u>

単体バックアップ

今すぐバックアップを実行する、単体バックアップの方法について説明します。

- 1. ActiveImage Protector を起動します。
 - サーバー OS の場合

• デスクトップOSの場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [ActiveImage Protector Desktop] → [ActiveImage Protector] をクリックします。

2. [バックアップの作成]をクリックします。

ActiveImage Protector v3.5 Server Edit 操作(の)表示(ソ) ツール(T) オブション(P) ヘル	ion プ(H)	
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★	タスク スケジュール 展歴 ステータス タスク	
Activelmage Live Status	iveImage Protector へようこそ	1

3. バックアップ元を選択します。

ここでは例として、バックアップ元としてディスク全体を選択します。 [ディスク全体]を選択してから、[ディスク0]のチェックボックスをオンにします。 バックアップ元の選択が完了したら、[次へ]をクリックします。

バックアップ作成ウィ	ィザード	×
	バックアップ元の選択 _{システム上のディスク、また} 」 す。	は任意のボリュームをバックアップできま
MBR ディスク: C: (ローカ NTFS 39.9	:0 容量:149.05 GB パーティション:3 ルディスク) E: (ローカルディスク) 0 GB(17.0 GB 使用済 NTFS 109.0 GB(5.7 GB 使用済み)	
© 7.	ィスク全体 ♥ディスク 0 149.1 GB (22.8 GB 使用済み)	
С ж ^и	リューム □ システムで予約済み 28.1 MB 使用済み (100.0 M □C: ローカルディスク 17.0 GB 使用済み (39.9 GM □E: ローカルディスク 5.7 GB 使用済み (109.0 G	4B NTFS(IFS)) 3 NTFS(IFS)) 3B NTFS(IFS))
	戻る(E) 次へ(N)	キャンセル(L) 完了(E)

4. イメージファイルの名前と保存先を指定します。

ここでは例として、イメージファイル名は「backup01.aiv」、保存先は「¥¥192.168.70.30¥disk」とします。 [イメージファイル名:]と[イメージの保存先:]を入力してから、[次へ]をクリックします。

バックアップ作成ウ	ィザード	×
	イメージ保存先の選択	・ イメージ ファイルとその保存場所を選択してください。ローカルまたは リモート マシン上の共有フォルダーにイメージを保存できます。
イメージ ファ	イル名: backup01.aiv	
イメージの保存 ¥¥192.168.7	先:(例:M:¥BACKUPS または ¥¥ARCH1¥/ 70.30¥disk	(ADMIN)
<u></u>	レプリケーション	
		戻る(E) 次へ(N) キャンセル(L) 完了(E)

5. 保存先に対する認証情報を入力します。

ユーザー名は「コンピューター名¥ユーザー名」の形式で入力してください。

ここでは例として、コンピューター名を「SERVER01」、ユーザー名を「aip」とします。

[ユーザー名:]に「SERVER01¥aip」、[パスワード:]に設定されているパスワードを入力してから、 [接続確認]をクリックしてください。

ネットワーク認証の入力		
保存先へのアクセスに必要なユーザー名とパスワードを入力します。 ユーザー名: SERVER01¥aip	パスワード: 接続確認	
179. コンビューター石ŧユーザー石 または ドメイン名¥ユーザー名	 キャンセル	

6. 保存先への接続に問題がなければ、下記のメッセージが表示されます。 [OK] をクリックしてください。

ActiveIm	age Protector	X
1	指定したユーザー名とパスワードによるログインに成功しました。	
	ССК	

ネットワーク認証の入力に戻りますので、[OK] をクリックしてください。

ネットワーク認証の入力		
保存先へのアクセスに必要なユーザー名とパスワードを入力します。		
ユーザー名: SERVER01¥aip	パスワード:	接続確認
例: コンピューター名¥ユーザー名 または ドメイン名¥ユーザー名		ОК
		キャンセル

7.「イメージオプション」を設定します。

通常のバックアップはオプションを変更する必要はありません。このまま [次へ]をクリックします。

「ックアップ作成・	ウィザード	×
	イメージ オプション	イメージに関する任意のオブションを設定します。圧縮または暗号化する場合は、イメージ作成に要する時間が長くなります。
☑ イメ- □ パス5 / □ 暗号 RC	-ジ ファイルをディスク単位で作成する フードで保護する パスワード: パスワードの確認: 化(要パスワード) .5	 ■ 重複排除圧縮 レベル:2(推奨) 一時作業フォルダー: c:¥windows¥temp¥ 重複排除の構成 ■ 通常圧縮 ● 高速 ● 高速
	52,AE	戻る(E) 次へ(N) キャンセル(L) 完了(E)

「イメージオプション」の設定内容は次のとおりです。必要に応じて選択してください。

オプション	内容
イメージファイルを ディスク単位で作成する	バックアップ対象として複数ディスクを選択している場合のみ設定可能です。 このオプションを無効にすると、すべてのディスクを一つのイメージファイル にバックアップします。重複排除圧縮を有効にする場合は、このオプション を無効にすることをお勧めします。
パスワードで保護する	イメージファイルにパスワードを設定できます。暗号化する際にも設定が必要 です。 1文字から設定可能です。英数字を組み合わせることでイメージファイルに 対するセキュリティをより高めることが可能です。
暗号化(要パスワード)	バックアップイメージを暗号化できます。暗号化アルゴリズムは以下の中から 選択します。
	[RC5] – RC5 256bit を使用して暗号化を行います。
	[AES (128bit)] - AES 128bit を使用して暗号化を行います。
	[AES (256bit)] - AES 256bit を使用して暗号化を行います。
通常圧縮	バックアップイメージを標準の形式で圧縮します。圧縮率は以下の中から選択 できます。
	[高速] -バックアップに要する時間とディスク使用量のバランスがとれて います。
	[高圧縮] -システムリソースを最大限活用し圧縮を行います。ファイルは 最も小さくなりますが、実行速度は遅くなります。
重複排除圧縮	重複排除による圧縮を行います。重複排除機能の設定を変更する場合は [重複排除の構成]をクリックしてください。

[高度な設定…]をクリックすると、下記の画面が表示されます。

通常は初期値のままで構いませんが、必要に応じて設定してください。

A3977F		タイムアウト
スナップショット実行前に実行するスクリプト:		(単位:分)
		30
スナップショット実行後に実行するスクリプト:		
		30
イメージ作成後に実行するスクリプト:		
		30
■ タスクの実行エラー時でも、指定したスクリプトを全す	て実行する	
タスクの実行エラー時でも、指定したスクリプトを全て タスクの実行エラー時でも、指定したスクリプトを全て その他 「 イメージに未使用のセクターを含める	○ 「「作成時にイメージを検証する」	
 □ タスクの実行エラー時でも、指定したスクリプトを全す その他 □ イメージに未使用のセクターを含める □ イメージを ■ MB 毎に分割する 	□ 作成時にイメージを検証する □ ネットワーク スロットルを使用する	
 □ タスクの実行エラー時でも、指定したスクリプトを全す その他 □ イメージに未使用のセクターを含める □ イメージを MB 毎に分割する □ 不良セクターを無視する 	○ て実行する ○ 作成時にイメージを検証する □ ネットワーク スロットルを使用する □ ネットワークへの書き込み時にキャッシュを使用する	(最大 KB/秒)
 □ タスクの実行エラー時でも、指定したスクリプトを全す その他 □ イメージに未使用のセクターを含める □ イメージを ■ MB 毎に分割する □ 不良セクターを無視する □ アクセス不能のボリュームを無視する 	○ 「 「 た成時にイメージを検証する 「 「 ため時にイメージを検証する 「 ネットワーク スロットルを使用する 「 ネットワークへの書き込み時にキャッシュを使用する 「 MD5 ファイルを作成する	(最大 KB/秒)
 □ タスクの実行エラー時でも、指定したスクリプトを全て その他 □ イメージに未使用のセクターを含める □ イメージを MB 毎に分割する □ 不良セクターを無視する □ アクセス不能のポリュームを無視する 	C実行する 「作成時にイメージを検証する 「ネットワーク スロットルを使用する 「ネットワークへの書き込み時にキャッシュを使用する 」 MD5 ファイルを作成する	(最大 KB/秒)

「イメージ作成での高度なオプション」の設定内容は次のとおりです。

オプション	内容
スナップショット実行前に 実行するスクリプト :	スナップショットを作成する前に実行するスクリプトファイルを 指定できます。 〈例〉 VSS 非対応のアプリケーションまたはデータベースを停止し、 バックアップが可能な状態に設定する操作が行えます。
スナップショット実行後に 実行するスクリプト:	スナップショットを保存した後に実行するスクリプトファイルを 指定できます。 〈例〉 スナップショット実行前のスクリプトを使用して休止状態にしていた アプリケーション、またはデータベースを再び稼動状態にするための スクリプトが実行できます。
イメージ作成後に実行する スクリプト :	 バックアップイメージの作成後に実行するスクリプトファイルを 指定できます。 〈例〉 作成されたバックアップイメージを、オフサイトにコピーする操作など が行えます。
タスクの実行エラー時でも、 指定したスクリプトを全て実行 する	バックアップが何らかの問題によりエラーが発生した場合にも、 指定したすべてのスクリプトが実行されます。

オプション	内容
イメージに未使用のセクターを 含める	空き領域を含む、ボリュームの全セクターをバックアップします。
イメージを「」MB毎に分割する	任意のサイズ(MB単位)で分割したイメージファイルを作成します。
不良セクターを無視する	バックアップ元のディスク上の不良セクターの存在をエラーとせずに、 バックアップタスクを継続します。
アクセス不能のボリュームを 無視する	アクセス不能なボリュームがあってもエラーとせず、バックアップを 継続します。
作成時にイメージを検証する	イメージファイル作成中にイメージファイルの検証を行います。通常の イメージファイル作成に検証が追加されるため、タスクの完了に時間が かかります。
ネットワークスロットルを使用 する	ネットワーク共有フォルダーにイメージファイルを保存する時に利用 するネットワーク帯域を、キロバイト単位で制限します。
ネットワークへの書き込み時に キャッシュを使用する	イメージファイルの保存先がネットワーク上である場合、キャッシュを 使用して書き込み速度を向上させます。
MD5 ファイルを作成する	作成したイメージファイルの MD5 をファイルに出力します。

8. バックアップタイプを選択します。

[直ちにバックアップ] が選択されていることを確認してから、[次へ] をクリックします。 (スケジュールバックアップの手順は、16ページの「スケジュールバックアップ」を参照してください。)

パックアップ作成ウィ	ſザード					×
	バックアッ	プタイプの選択	バックア 実行する	ッブを直ちに作成す かを選択します。	るか、またはスケジ	ュールを作成して
● 直ちに	バックアップ	ディスクまたはポリュームな	を直ちにバック)	アップするには、このオフ	ションを使用します。	
0 አታናን	ュール バックアップ	バックアップのスケジューノ	しを作成します	(スケジュールの名前)	を入力してください)。	
	2					
		I	1			
作成するこのイン	リージに関する説明を2	、力できます。 イメージ ファイ	ルの内容を確	認する際に役立てる。	とができます。	
				264 (01)		
			戻る(生)),⊼^\(<u>N</u>)	キャンセル(ビ)	元了(上)

9. バックアップの内容が表示されます。

内容を確認してから[完了]をクリックすると、バックアップが開始されます。

バックアップ作成ウィザー	- 14-					×
	確認	設定を再確認して、よ は[キャンセル]、設定	ろしければ[完了 ?を変更する場合]をクリックしてくた こは[戻る]をクリッ	ださい。バックアップの クレてください。	作成を中止するに
このウィザードが完了 ディスク:0 作成するイメージ:¥¥ 通常圧縮(高速)ON	した後にバッ 192.168.7 J, 優先度 =	クアップの作成を開始します 0.30¥disk¥backup01.aiv = フル:中	•			
			戻る(目)	次へ(<u>N</u>)	キャンセル(上)	

10.バックアップが開始されると、バックアップタスクが表示されます。 進捗が100%になるとバックアップは完了します。

畿 ActiveImage Protector v3.5 Server Edit 操作(の) 表示(い ツール(T) オブション(P) へ)	tion レプ(日)	
 バックアップと復元 (※) バックアップの作成 イメージの復元 イメージの夜祖 イメージのマウント イメージのマウント解除 ッール ※ ッール ※ コンピューター情報 (※) ユーザー名:Administrator コンピューター:SERVER01 IP:192168.7031 マウントしたイメージ:なし	タスク スケジュール 展歴 フォータス タスクタ: 直接イメージの作成 1% Task Details 情報 タスク名: 直接イメージの作成 ステータス:実行中 開始日時:2012-11-09 15.42.24 処理済みサイズ:0 バイト 追加情報 優先度:中 進捗: Microsoft Volume Shadow copy Service (VSS)を開始しま 設定(S)	t đ
Activelmage Live Status	tiveImage Protector ヘようこそ ックアップ イメージを直ちに作成します	1

スケジュールバックアップ

定期的にバックアップを実行する、スケジュールバックアップの方法について説明します。

まず、「単体バックアップ」の1.から7.(9ページから12ページ)までと同様の手順で操作を進めます。

8. バックアップタイプを選択します。

[スケジュールバックアップ]を選択します。

[バックアップのスケジュールを作成します(スケジュールの名前を入力してください)。] にスケジュール名を 入力して、[次へ]をクリックしてください。

バックアップ作成	ウィザード					×
	バックアッ	プタイプの選択	バックア・ 実行する	ップを直ちに作成す かを選択します。	おか、またはスケジ	ュールを作成して
C 直	5にパックアップ ジュール パックアップ	ディスクまたはボリュームを バックアップのスケジュール schedule01	道ちにバック7 を作成します	^v ップするには、このオナ (スケジュールの名前	タションを使用します。 を入力してくださいう。	
作成するこの	イメージに関する説明を	入力できます。イメージ ファイノ	ルの内容を確	認する際に役立てる。	とができます。	
			戻る(E)	汰へ(№)	キャンセル(L)	完了(E)

9. バックアップ実行のタイミングを設定します。

ここでは例として、下記の設定で週単位のバックアップスケジュールを作成します。

- スケジュールの種類:週単位指定
- フルバックアップ:日曜日の午前1時
- 増分バックアップ:月曜日から金曜日までの午前1時

バックアップ作成ウィザード 通単	位バックアップ ^{フル} バックアップと任意で	▶ まで増分イメージを作成する時刻を選択します。
 C 一回のみ ⑥ 週単位指定 〇 月単位指定 	フル(ベース) スケジュール有 「一回のみ スケジュール有 月 火 水 木 金 土 開始時刻 01:00 増分 開始時刻: 01:00 単分 レ レ レ 単分 ● ● ● ● ● ● ●	有効開始日時: 2012/11/09 ▼ 16:08 タスクの優先順位: , , , , , 高 中 低 分毎に作成する 高 中 低
	戻る(E) 次/	たへ(N) キャンセル(L) 完了(E)

すべての項目を設定したら、[次へ]をクリックします。

10.「イメージの保有」を設定します。

[保有ポリシーを有効にして、古い世代のバックアップイメージを自動的に削除する]のチェックボックスを オンにして、保有するバックアップイメージの世代数を設定します。

ここでは初期値の3を指定します。

(週単位指定のスケジュールの場合は、3週間分のイメージが保存先に残ります。)

イメージの保有を設定したら、[次へ]をクリックします。

パックアップ作成ウィザード	×
イメージの保有 バックアップ イメージ ファイルの保有ポリシーを指定します(オブション)。	0
 ✓ リコンサイル イメージ: ¹ 増分作成にエラーがあった場合や無効のスケジュールを有効にした場合等で、ベースを作成する代わりに継続して増分ファイルを作成で ようにします。 ✓ 保有ポリシーを有効にして、古い世代のバックアップ イメージを自動的に削除する 保有するバックアップ イメージの世代数: 3 ④ 同じ世代のフルと増分バックアップのイメージを全て削除する ○ 増分バックアップ イメージのみを削除する(フル バックアップのチェジは残す) 注意:世代とは、フル バックアップ イメージとそれに関連する増分バックアップの集まりを言います。 	できる
戻る(E) 次へ(N) キャンセル(L) 完	7(E)

11.スケジュールの内容が表示されます。

内容を確認してから [完了]をクリックすると、スケジュールが作成されます。

バックアップ作成ウ	ィザード	
	確認	設定を再確認して、よろしければ[完了]をクリックしてください。バックアップの作成を中止するに は[キャンセル]、設定を変更する場合には[戻る]をクリックしてください。
週単位指定で ディスク:0 作成するイメー フルバックアップ・ 増分パックアップ 3 セット数を保	実行するスケジュ ジ:¥¥192.168. を日曜日の01 を月曜日,火明 有します(フルおよ	ール 'schedule01' を作成します。 70.30¥disk¥backup01.aiv :00 (こ実行します。 望日, 水曜日, 木曜日, 金曜日 の 01:00 - 01:00 の間に 0 分間隔で実行します。 :び増分パックアップを削除する〉, 通常圧縮(高速)ON, 優先度 = フル:中, 増分:中
		戻る(E) 次へ(N) キャンセル(L) 完了(E)

12.「スケジュール」タブに、作成したスケジュールが登録されているかを確認します。

指定した時刻になると、スケジュールバックアップが実行されます。

器 ActiveImage Protector v3.5 Server Edit 操作(の) 表示(V) ツール(T) オプション(P) ヘル	ion プ(H)			
 バックアップと復元 バックアップの作成 イメージの復元 イメージの使証 イメージのマウント イメージのマウント解除 シール シール シール シーレ シーレ シーレ 	タスク スケジュール 履歴 2ケジュール 有効 schedule01 はい く Schedule Details	<u>タイプ</u> 週単位指定	右动間於日時 2012-11-09 16:10:00	最新宝行F▲ 一度も実1
Activelmage Live Status	iveImage Protector へようこそ 単位のスケジュールを作成しました:sched	dule01		

オフサイトレプリケーションの設定

オフサイトレプリケーション機能を利用すると、バックアップタスクの終了後、任意の場所へバックアップイメージ ファイルの複製を作成することができます。

1. オフサイトレプリケーションの設定を開きます。オフサイトレプリケーションは、「バックアップ作成ウィザード」 の下記の段階で機能を有効にすることができます。

[オフサイトレプリケーション]をクリックします。

バックアップ作成ウ	ロイザード		×
	イメージ保存先の選択	イメージ ファイルとその保存場所 リモート マシン上の共有フォル・	所を選択してください。ローカルまたは ダーにイメージを保存できます。
イメージ ファ	мина:		
イメージの(保存	を先:(例:M:¥BACKUPS または ¥¥ARCH1¥A	DMIN>	
		戻る(E) 次へ(N)	キャンセル(L) 完了(E)

2. レプリケーション先1の [このレプリケーション先を有効にする] にチェックを入れます。

テキストボックスにレプリケーション先のパスを直接入力するか、[...(参照)]から選択して指定してください。 ここでは例として、レプリケーション先のサーバーを「rep-server01」、レプリケーション先の共有フォルダー名を 「backup」、ユーザー名を「administrator」として、次の設定を入力します。 (ユーザー名は「コンピューター名¥ユーザー名」の形式で入力してください。)

- レプリケーション先:¥¥rep-server01¥backup
- ユーザー名:SERVER01¥administrator
- パスワード: (ユーザーに設定されているパスワード)

オフサイトレフリケーションの設定
☑ オフサイト レプリケーションを有効にする
ーレプリケーション先 1
☑ このレプリケーション先を有効にする
レブリケーション先: (例:M:¥BACKUPS, ¥¥ARCH1¥ADMIN, ftp://hostname/folder または http://hostname/folder)
¥¥rep-server01¥backup
ユーザー名: SERVER01¥administrator パスワード: •••••••••• 接続確認 接続確認
▼ 保存ポリシーにより保存先のイメージ ファイルが削除された場合、同じイメージ ファイルを削除する
□ 新しいイメージ ファイルのみレプリケーションする □ 常にレプリケーション元と同じ状態にする
🔲 増分イメージ ファイルのみレプリケーションする
- レブリケーション先 2
「このレプリケーション先を有効にする
レブリケーション先:(例:M:¥BACKUPS, ¥¥ARCH1¥ADMIN, ftp://hostname/folder または, http://hostname/folder)
▶ 【保存ポリシーにより保存先のイメージ ファイルが削除された場合、同じイメージ ファイルを削除する
新しいドメージ ファイルのかレフリケーションする 「おにレフリケーション元と同じ状態にする 「おくくし ジョー (1,03)」 プリト・シーン オス 「おくくし ジョー (1,03)」 プリト・シーン オス
■ 増分イメージ ファイルのかレフリケーションする
- レプリケーション先 3
🥅 このレプリケーション先を有効にする
レブリケーション先:(例:M:¥BACKUPS, ¥¥ARCH1¥ADMIN,ftp://hostname/folder または http://hostname/folder)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
フーザータ: パスワード: 接続確認
■ 「「「「「」」」 「「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「
新しいイメージ ファイルのみレブリケーションする 「 新しいイメージ ファイルのみレブリケーションする 「 新しいイメージ ファイルのみレブリケーションする 「 新しいブリケーションテと同時状態にする 」
▶ 増分イメージ ファイルのみレブリケーションする
OK キャンセル

各情報を入力した後に[接続確認]をクリックします。

3. レプリケーション先に対するユーザー名とパスワードに間違いがなければ、次のメッセージが表示されますので、 [OK] をクリックしてください。



必要に応じて以下のオプションを選択してください。

オプション	内容
保有ポリシーにより保存先の イメージファイルが削除された場合、	スケジュールバックアップの保有ポリシーによって削除された イメージファイルを、レプリケーション先でも削除します。
同じイメージファイルを削除する	※結合処理やユーザー操作によって削除されたファイルは、削除 されません
新しいイメージファイルのみ レプリケーションする	新たに作成されたイメージファイルのみ、複製をレプリケーション 先に作成します。
	レプリケーション機能が無効状態の既存のバックアップスケジュール で、レプリケーション機能を有効にするよう編集してこのオプション を選択した場合は、これまで作成されたイメージファイルはレプリ ケーション先に複製されず、編集後に作成したイメージファイルのみ 複製が作成されます。
常にレプリケーション元と 同じ状態にする	指定したイメージの保存先フォルダーとレプリケーション先は常に 同期されます。
	結合処理やユーザー操作によって編集・削除されたファイルも保存先 フォルダーの状態と同期されます。
増分イメージファイルのみ レプリケーションする	プロファイルによって作成された増分イメージファイルのみ複製を レプリケーション先に作成します。
	※結合処理によって生成された増分イメージファイルの複製は、 レプリケーション先に作成されません。

注意: [新しいイメージファイルのみレプリケーションする] と [常にレプリケーション元と同じ状態にする] は、 どちらか一つのみを有効にできます。デフォルト設定では、この二つのオプションは無効となっています。 その場合、レプリケーション先には、指定したイメージ保存先フォルダーに存在する ActiveImage Protector に関係するファイルの複製が作成されますが、結合処理やユーザー操作によって編集、削除されたファイル の同期は行われません。 **4.** 設定が終了したら [**OK**] をクリックしてください。バックアップタスクが完了した後、レプリケーション処理 がバックグラウンドで実行されます。

フサイトレブリケーションの設定	
✓ オフサイト レブリケーションを有効にする - レブリケーション先 1 ✓ このレブリケーション先を有効にする	
レブリケーション先:(例:M:¥BACKUPS, ¥¥ARCH1¥ADMIN, ftp://hostname/folder または http://hostname/fold	ler)
¥¥rep-server01¥backup .	
ューザー名: SERVER01¥administrator パスワード: •••••••	
 	
レブリケーション先 2 「このレブリケーション先を有効にする レブリケーション先:〈例:M:¥BACKUPS, ¥¥ARCH1¥ADMIN, ftp://hostname/folder または http://hostname/folder	ler)
ユーザー名: パスワード: 接続確認 ▼ 保存ポリシーにより保存先のイメージ ファイルが削除された場合、同じイメージ ファイルを削除する ■ 新しいイメージ ファイルのみレプリケーションする ■ 常にレプリケーション元と同じ状態にする ■ 増分イメージ ファイルのみレプリケーションする	
レブリケーション先 3- □ このレブリケーション先を有効にする レブリケーション先:〈例:M:¥BACKUPS, ¥¥ARCH1¥ADMIN, ftp://hostname/folder または http://hostname/fold	ier)
ユーザー名: パスワード: 接続確認	
 ☑ 保存ポリシーにより保存先のイメージ ファイルが削除された場合、同じイメージ ファイルを削除する □ 新しいイメージ ファイルのみレブリケーションする □ 常にレブリケーション元と同じ状態にする □ 増分イメージ ファイルのみレブリケーションする 	
OK ¥v	ンセル

ファイル単位のリストア

ActiveImage Protectorのイメージのマウント機能を使用して、ファイル単位のリストアを実行します。 ファイルまたはフォルダー単位でリストアを実行したい場合は、以下の手順を行ってください。

- 1. ActiveImage Protector を起動します。
- サーバー OSの場合

 $[スタ - h] \rightarrow [す べ て の プ ロ グ ラ ム] \rightarrow [ActiveImage Protector Server] → [ActiveImage Protector] を ク リ ッ ク し ま す。$

• デスクトップOSの場合

[スタ-ト] → [t v c o J u f j J] → [ActiveImage Protector Desktop] → [ActiveImage Protector] <math>b fJ v f b

2. [イメージのマウント] をクリックします。



3. [... (参照)]をクリックします。

ActiveImage Prot	ector		×
6	イメージのマウント イメージを Windows エクスプローラー等にボリュ たはフォルダーの読み出すことができ、オプショ ります。	ームとしてマウントします。イメージ ンによりボリュームへの書き込みカ	からファイルま できるようにな
イメージ ファイル名 	:	マウントするイメージに 実用の当てるドライブ文字・	
		F: ▲ G: ↓ H: ☑ 読み出し専用と J: ↓ K: ▼	してマウントする
 ■ 差分イメージの ■ 選択したイ 	MD5 ファイルを作成する メージによって MD5 ファイルを作成するかを決定する		OK キャンセル

4. [ファイル名:] にイメージ保存先のパス [¥¥192.168.70.30¥disk] を入力してから、[開く] をクリックします。

副の		×
 • ۶イブラリ • ドキュメント • • 	ドキュメントの検索	2
整理 ▼ 新しいフォルダー	:==	- 🔟 🔞
★ お気に入り	並べ替え: フォ	ルダー 👻
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	更新日時	種類
	2012/06/04 16:00	ファイル フォルダ
🍝 ローカル ディスク		
A DVD RW F517		Þ
ファイル名(<u>N</u>): ¥¥192.168.70.30¥disk 🔹	ActiveImage Protect	:or イメ- 🔻
	聞<(0) ⇒	-+>セル

5. 復元したいファイルがバックアップされているイメージファイルを選択してから、[開く] をクリックします。

墨雷			×
🌀 🖓 🗸 🖈 🖓 🖓	+ 192.168.70.30 + disk - + €	diskの検索	P
整理 マ 新しいフォルダー		3==	- 🔳 🔞
▲	名前 🔺	更新日時	種類
📃 デスクトップ	W	2010/11/00 15:10	A
🧊 ライブラリ 🔤	Serveru I@backupu I_ouu_uuuu I aiv	2012/11/09 15:48	ActiveImage I
אינאנדאיז 🛐			
ןעצבאר איך 📗			
🌙 パブリックのドキ			
ビクチャ			
■ CT4 トラーごかり			
ייר באייר באייר עריד באייר			
- フロッピー ディスク			
🏭 ローカル ディスク			
🛃 DVD RW אידאל 🔤			
👝 ローカル ディスク			
📬 ネットワーク			
192.168.70.30			
🚽 disk 🚽	4		Þ
_			
ファイ	7ル名(N): server01@backup01_d00_000 -	ActiveImage Protec	tor イメ- <u>・</u>
		開く(<u>0</u>) :	キャンセル
			11.

 6. [ボリューム一覧:]からマウント対象のパーティションを選択し、[マウントするイメージに割り当てる ドライブ文字:]でドライブレターを指定してから、[OK]をクリックします。
 ここでは例として、CドライブのイメージをFドライブに割り当てています。

ActiveImage Pro	tector	×
	イメージのマウント イメージを Windows エクスプロー たはフォルダーの読み出すこと; ります。	ーラー等にボリュームとしてマウントします。イメージからファイルま ができ、オブションによりボリュームへの書き込みができるようにな
イメージ ファイル名 ¥¥192.168.70.3 ポリューム→覧: ○ ** (NTFS(IFS ○ C: (NTFS(IFS ○ E: (NTFS(IFS)) ○ E: (NTFS(IFS)) ○ E: (NTFS(IFS)) □ 差分イメージの □ 選択したオ	: O¥disk¥server01@backup01_d00)) 100.0 MB)) 39.9 GB)) 39.9 GB)) HD5 ファイルを作成する (メージによって MD5 ファイルを作成する	_00001.aiv マウントするイメージに 割り当てるドライブ文字: F: ↓ H: ↓ H: ↓ K: ▼ Shrを決定する

7. エクスプローラーに、Fドライブが新規に作成されていることを確認します。

復元したいファイル、フォルダーに対して、Windowsの操作の[コピー]と[貼り付け]を使用して復元して ください。



8. 復元が完了したら、マウントを解除します。

エクスプローラーを閉じてから、[イメージのマウント解除]をクリックします。

# ActiveImage Protector v3.5 Server Edit #作(②) 表示(ゾ) ツール(エ) オプション(P) ヘル	ion J(∐)
ジング バックアップと復元 🛞	タスク スケジュール 履歴
 INシクアップの作成 イメージの復元 イメージの検証 イメージのマウント イメージのマウント 	<u>ステータス タスク</u>
シール 	Task Details

9. [マウント済みイメージ:] に表示されているドライブのチェックボックスをオンにし、[使用中でも強制的に マウント解除する] のチェックボックスもオンにしてから、[OK] をクリックします。

ActiveImage	Protector	×
	イメージのマウント解除 ActiveImage Protector によって Windows エクスプローラー等にマウントされ いるイメージ ファイルをマウント解除します。	17
マウ ⁵ 小溶み ▼F:(読みと	イメージ・ 出し専用)は、ボリューム 2/¥¥192.168.70.30 ver01@backup01_d00_00001.aiv	
	✓ 使用中でも強制的にマウント解除する ○K キャンセ	JI.

ここでは例として、Fドライブにマウントされているイメージを選択しています。

10.エクスプローラーから、イメージをマウントしたドライブが消えていることを確認します。

厚コンピューター			
שעב ד 🔊 🔘	1-9- •	דארב 🚱 אליד	の検索
ファイル(E) 編集(E) ま 整理 マ システムのプ	そ示(ソ) ツール(I) ヘルプ(H) ロパティ プログラムのアンインストールと変更 ト いード ディフク ドライブ(2)	ネットワーク ドライブの割り当て »	u= • 🚺 😧
★ お気に入り	ローカル ディスク (C:) 全部領域 22.8 GB/39.9.0 ▲ リムーバブル記憶域があるデバイス (2	ローカル ディスク (E:) 3B 空き領域 103 GB/1] 09 GB
 デスタトップ ライブラリ ドキュメント ビデオ ミュージック Administrator コンピューター コンピューター コンピューター コンピー ディス ローカル ディス ローカル ドライ ローカル ドライ ローカル ドライ ローカル ドス マットワーク コントロール パネル ごみ箱 	クド: (C) ブ(E)	- (A:))

システムリカバリーの実行

ActiveImage Protectorの製品メディアを使用して、システムリカバリーを行います。

- **注意**:システムのリカバリーを行うと、ローカルに存在するデータがすべて削除されますので、十分に注意して から実行してください。
- 1. ブートメディアをセットして、マシンをメディアからブートします。
- 2. メニューが表示されたらキーボードの「↑」「↓」キーで[1]のメニューを選択してから、[Enter]キーを押します。

	ActiveImage Protector Recovery Environment	
	[1] Boot from DVD-ROM [2] Boot from DVD HOH (Basic Vidco) [3] Boot from Local Disk	
	Select [1] and [Enter] to start Recovery Environment.	
Activ	elmage PROTECTOR	NetJapan

リカバリー環境の起動が完了するまで、しばらく待ちます。

3. 言語選択が表示されますので [日本語] をクリックしてください。

Activeings Protector	
Activelmage Protector	
English	
日本語	
	<i>O</i> NetJapan

4. ActiveImage Protector のコンソールが起動します。IPアドレスの設定を行うため、[ツール]をクリックします。

Active	mage PROTECTOR				
バックアップ	ディスクの復元 ポリュ	ームの復元	イメージ マウント	ツール	
バックアップ元 バックアップ対象のデ ィ	ィスクまたはポリューム	を選択してく	ださい。		
バックアップ対象: 🔘 デ	ィスク 🔘 ポリューム				
	0 GB)				
	1 — 4.1 (100.0 MB) 1 — 4.2 (59.9 GB)				
	n - Chanaiste Martha Buille 9				

5.「以下のIPアドレスを使用する」をクリックしてから [IPアドレス] と [サブネットマスク] を入力します。 ここでは例として、IPアドレスに「192.168.70.31」、サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力してから [適用] をクリックします。

		🥹 פאשרפסט 🕐 אשל
バックアップ ディ	イスクの徳元 ポリュームの徳元 イメージ マウント ツール	
ツール	ネットワーク設定 ネットワークの設定を自動 (DHCP) または手動でおこなえます。	
 ネットワーク設定 マウント(ネットワーク) 	現在の NIC: etho ◆	現在の設定
	 ・D アドレスを自動的に取得する(DHCP 使用) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ターミナルを開く	IP アドレス: 192.168.70.31	
ファイル ブラウザ	サブネット マスク: 255.255.25.0	
🔯 ディスク情報の更新	デフォルトゲートウェイ:	
	 DNS サーバー設定を自動的に取得する (DHCP 視用) 	
	 以下の DNS サーバー 設定を使用する: 	
	フライマリ UNS サーバー: セカンダリ UNS サーバー:	
and the first state		
		適用 キャンセル

6. ネットワーク設定の確認が求められますので、[OK] をクリックします。



7. [マウント (ネットワーク)] をクリックします。

Active					
パックアップ	ディスクの復元	ポリュームの復元	イメージ マウント	<u> </u>	
ツール	ネットワー	ク設定			
🔅 ネットワーク設定	▶ ネットワーク	つの設定を自動	(DHCP) または手動	りでおこなえます。	
マウント(ネットワーク)	現在の NIC:	eth0 🗘			
Image:	○ IP アドレ	スを自動的に取得する	(DHCP 使用)		
ターミナルを聞く	・以下の IP	アドレスを使用する:			
	IP 7FL		192.168.70.31		
🚞 ファイル ブラウザ	サブネッ	トマスク:	255.255.255.0		
💽 ディスク情報の更新	デフォル	トゲートウェイ:			

8. イメージファイルの保存先をマウントします。

ここでは例として、下記の設定で保存先をマウントします。

- ネットワーク上のコンピューター: BACKUP-SV
- IPアドレス:192.168.70.30
- 共有フォルダー:disk
- ユーザー名:aip
- パスワード:(設定されているパスワード)

[BACKUP-SV (192.168.70.30)] をダブルクリックします。

Active	PROTECTOR
バックアップ	ディスクの復元 ポリュームの復元 イメージ マウント ツール
ツール	ネットワーク共有フォルダーのマウント
🤹 ネットワーク設定	ネット <mark>ワーク共有フォル</mark> ダーのマウントをおこないます。
マウント(ネットワーク)	ネットワーク上のコンピューターと共有フォルダー BACKUP-SV (192.168.70.30)
ターミナルを開く	
つアイル ブラウザ	
😪 ディスク情報の更新	

9. [ユーザー名の入力:] に、保存先にアクセス可能なユーザー名を入力してから [OK] をクリックします。 ここでは例として、[aip] と入力します。

	ユーサ	一名	×
ユーザー	名の入力:		
aip			
	Ок	Cance	1

10.続けて[パスワードの入力:]に、ユーザー名に対するパスワードを入力してから[OK]をクリックします。

- パスワード		×
パスワート	の入力:	

	🖉 ок 🛛 🗶 Сал	ncel

11.コンピューターの左側にある [+] マークをクリックして、共有フォルダーを展開します。

# Active		Ř			
バックアップ	ディスクの復元	ポリュームの復元	イメージ マウント	y-1	
ツール	ネッ	トワーク共有フォル	レダーのマウント	-	
🔅 ネットワーク設定	ネット	ワーク共有フォルダ	ーのマウントをお	こないます。	
マウント (ネットワーク)	*	ットワーク上のコンピューター 	と共有フォルダー		
		a 6466.0P-39 (192.106.7	0.50)		
ターミナルを開く					
つァイル ブラウザ					

12.共有フォルダー(ここでは [disk])を選択してから [マウント] をクリックします。

	age			🔮 ระระช่วว 🕐 กมว
バックアップ ディン	スクの復元 ポリュームの復元 イメージ マウント	<u>у-</u> μ		
ソール ネットワーク設定 マウント(ネットワーク) ト マウント(ホットワーク) ト マウント(ローカル)	ネットワーク共有フォルダーのマウン ネットワーク共有フォルダーのマウントをお ネットワーク上のコンピューターと共有フォルダー 日 BACKUP-SY (192.168.70.30) Default share Backup Armin	こ ないます。		
 ターミナルを聞く ファイル ブラウザ ディスク情報の支新 	i i Remote Admin			
	コンピューター リス	トの再作成	IP アドレスによる直接指定	
	共有フォルダーを参照するにはコンピューターをダブルクリッ	クし、[マウント] してください (ユーザー名とパスワー	- ドが必要)	
	選択された UNC パス: //	192.168.70.30/disk		
				マウントマウントの一覧

13.「マウントされたネットワーク共有フォルダー」の一覧に、マウントポイントが作成されていることを確認します。

Active	PRO	
バックアップ	ディ	スクの復元 ボリュームの復元 イメージ マウント ツール
リール		ネットワーク共有フォルダーのマウント
🤹 ネットワーク設定		現在マウントされているネットワーク共有フォルダーの一覧を参照できます。
マウント (ネットワーク)		マウントされたネットワーク共有フォルダー
		○ 🥝 //192.168.70.30/disk (マウント ポイント "/mnt/NetVolume_192.168.70.30_disk")
ターミナルを開く		
🧰 ファイル ブラウザ		
🔯 ディスク情報の更新		

14.[ディスクの復元]をクリックします。

Activelmage PROTECTOR					
バックアップ	ディスクの復元 ポリュームの復元 イメージ マウント ツール				
ツール	ネットワーク共有フォルダーのマウント				
🐲 ネットワーク設定	現在マウントされているネットワーク共有フォルダーの一覧を参照できます。				
マウント (ネットワーク)	マウントされたネットワーク共有フォルダー				
	○ 🥝 //192.168.70.30/disk (マウント ポイント "/mnt/NetVolume_192.168.70.30_disk")				
ターミナルを開く					
🪈 ファイル ブラウザ					

15.[参照] をクリックします。

	Q	シャットダウン 🕐 ヘルプ
バックアップ ディスクの復元	ポリュームの徳元 イメージ マウント ツール	
復元元のイメージ ファイルの選 復元元のイメージ ファイルとディス (^{復元元のイメージファイル:}	尺 7番号を選択してください。	·····································
イメージ ファイルの内容:	イメージ ファイル上のディスク番号:	

6.マウントしたフォルダー(ここでに	[NetVolume_192.168.70.30_disk])	をダブルクリックして開きます。
--------------------	---------------------------------	-----------------

		Activelmage F	Protector					×
Look in:	/mnt		\$) G	Θ	0	12	:: =
Compute /		Disk0_Volume1 Disk0_Volume2 live NetVolume_192.168.70.30_disk						
File <u>n</u> ame:								Open
Files of type:	AIP イメー	ジ ファイル(*.aiv *.aix *.aii)				\$	2	Cancel

17.イメージファイルを選択してから [Open] をクリックします。。

	ActiveImage Protector		×
Look in:	/mnt/NetVolume_192.168.70.30_disk	÷ 0 0	•
Comput	er server01@backup01_d00_00001.aiv		
File <u>n</u> ame:	server01@backup01_d00_00001.aiv		Open
Files of type:	AIP イメージ ファイル(*.aiv *.aix *.aii)		Cancel

18.「イメージファイル上のディスク番号」と「イメージファイルの内容」を確認してから、「次へ」をクリックします。

	🔮 シャットダウン 🅐 ヘルナ
パックアップ ディスクの復元 ボリュームの復元 イメージ マウント タール	Π.
復元元のイメージ ファイルの選択 復元元のイメージ ファイルとディスク番号を選択してください。	
優元元のイメージ ファイル:	
/mnt/NetVolume_192.168.70.30_disk/server01@tackup01_d00_00001.aiv	* E
イメージ ファイルの内容:	イメージ ファイル上のディスク番号: ディスク0 (512.0 GB) 💠
a (NTFS(IFS)) 100.0 MB C (NTFS(IFS)) 59.9 GB	
ディスクの機元はイメージ ファイル上のすべてのボリュームを復元します。	
	次へ キャンセル

19.復元先の [ディスク] を選択してから [次へ] をクリックします。



20.復元時のオプションは変更せずに [次へ]をクリックします。

21. サマリが表示されますので、問題がないことを確認してから [開始] をクリックします。

22.確認のメッセージが表示されます。[OK]をクリックすると、復元が開始されます。

23.復元の実行中は進捗が表示されます。

ActiveImage Protector	
Restoring	35%
	タスクのキャンセル

24.復元が完了するとメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

25.復元環境を終了するため、画面右上の [Shutdown] ボタンをクリックします。

	ענפאפאפ 👰 אוגא 🕐 גע
パックアップ ディスクの復元 ポリュームの復元 イメージ マウント ツール	
復元元のイメージ ファイルの選択 復元元のイメージ ファイルとディスク番号を選択してください。 _{復元元のイメージファイル} :	
イメージ ファイルの内容::	参照 イメージ ファイル上のディスク番号: ◆

26.シャットダウンの確認が表示されますので、[OK] をクリックします。

27.マシンのシャットダウンが開始されます。

マシンのシャットダウンが完了したら、再度マシンの電源をONにしてWindowsが正常起動するかを確認します。 以上で復元の作業は完了です。

6. APPENDIX

ActiveImage Protector 参考情報

• ActiveImage Protector 専用サイト

製品情報の他、各種資料やサポート情報、アップデートなど、総合的にご案内しています。 http://activeimage.jp/

ActiveImage Protector FAQ

サポート情報のデータベースです。 http://www.netjapan.co.jp/e/faq/index.php?action=show&product=AIP35SVDT